

市議会だより



表題は「いとう」の文字に大室山・小室山を配し、図案化したものです。

リニューアル号

温 故 知 新

～議会広報活動で撮影した写真の中から、新旧の市役所庁舎と議場を掲載～



旧 市役所庁舎（松川側）（市政の概要 昭和56年版掲載）



現 市役所庁舎（市議会だより平成24年11月号掲載）



旧 市役所庁舎（正面側）（市政の概要 昭和54年版掲載）



現 議場（市議会ホームページ掲載）



旧 議場（市議会だより 昭和61年2月号掲載）



現 議場（市議会ホームページ掲載）

主な内容

- 9月定例会の概要【P. 2】
- 一般質問（9議員が登壇）.....【P. 8】
- 決算大綱質疑（6議員が質疑）.....【P. 5】
- 常任委員会だより【P.11】

市 議 会 だ よ り

議案番号	件 名	概 要	提出者	審議結果
発選第4号	副議長選挙	榎本元彦副議長の逝去に伴う副議長選挙 有効投票18票のうち、横沢勇議員18票で、横沢勇議員が当選	—	—
陳情第2号	成年後見制度利用者に対する成年後見人等の報酬助成及び届け出窓口一元化を求める陳情	陳情者：公益社団法人 成年後見センター・リーガルサポート静岡支部 支部長 澤本裕貴氏、静岡県司法書士会 会長 杉山陽一氏、静岡県司法書士政治連盟 会長 水野裕之氏	—	全会一致で採択
発議第11号	議長辞職願について	宮崎雅薫議長の議長辞職	議長	全会一致で許可
発選第5号	議長選挙	有効投票15票のうち、稲葉富士憲議員15票で、稲葉富士憲議員が当選	議長	—
発議第12号	副議長辞職願について	横沢勇副議長の副議長辞職	議長	全会一致で許可
発選第6号	副議長選挙	有効投票14票のうち、佐山正議員14票で、佐山正議員が当選	議長	—
発選第7号	常任委員会委員の所属変更について	※ホームページ 第18期伊東市議会議員名簿の「委員会委員一覧」をごらんください	議長	全会一致で可決
発選第8号	議会運営委員会委員の補欠選任について	※ホームページ 第18期伊東市議会議員名簿の「委員会委員一覧」をごらんください	議長	全会一致で選任
発議第6号	返済不要の「給付型奨学金」の創設及び無利子奨学金の拡充を求める意見書	内閣総理大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第7号	「同一労働同一賃金」の実現を求める意見書	内閣総理大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第8号	無年金者対策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第9号	チーム学校推進法の早期制定を求める意見書	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決
発議第10号	有害鳥獣対策の推進を求める意見書	内閣総理大臣、農林水産大臣、経済産業大臣、環境大臣、衆議院議長及び参議院議長に提出	議員 8名	全会一致で可決

第六八代副議長を選出

定例会初日、故榎本元彦副議長への追悼演説に続き、副議長選挙を行い、投票の結果、横沢勇議員が当選し、副議長に就任しましたが、最終日に副議長辞職願が提出され、全会一致で許可されたため、新たに副議長選挙を行いました。



第68代副議長
横沢 勇

陳情第二号について

本陳情は、成年後見人等の報酬助成に関する要綱制定や市から郵送される被後見人宛郵便物の送付先を成年後見人等に変更するための届け出窓口を一元化すること等を求めるもので、付託された常任福祉文教委員会では採択すべし、また、処理の経過及び結果の報告を請求することを適当と決定し、本会議において全会一致で採択と決定しました。

決算大綱質疑

全会派及び会派に所属していない議員から6議員が質疑
／決算概要説明及び各会計決算に係る議案について (質疑順に掲載)

◎=会派代表者、会派構成議員は決算大綱質疑時の議席順。質疑した議員は、太字・網かけ

■正風改革クラブ

・宮崎雅薫議員・佐山 正議員
◎井戸清司議員・土屋 進議員

平成二七年度決算を踏まえ、本市の将来像、財源確保及び政策課題について伺う

市税収入が減少し、歳出総額に占める義務的経費の割合が増加する一方で、投資的経費が減少している。また、人口減少や少子高齢化で、近い将来、生産年齢人口も減少していくことから、今後、総合計画や各種基本計画等を着実に実行することが必要となるが、平成二七年度決算を踏まえ、本市の将来像をどのように描き、自主財源の確保と政策課題に取り組んでいくのか伺う。

市長

移住率や出生率を上昇させることにあわせ、納税方法の多様化等で収納率の向上を図っていく

人口減少や市税の落ち込みが見込まれる中、積極的な移住定住促進策や子育て支援の充実などにより、移住率や出生率を上昇させることにあわせ、市税については、課税の適正化及び納税方法の多様ななどで収納率の向上を図り、自主財源の確保に努めていく。また、行財政運営のさらなる簡素・効率化を図り、本市の将来像「ずっと住みたいまた来たい 健康保養都市」というの実現に向け、積極的に取り組んでいきたい。

保健衛生費の増額要因及び観光費の増額の要因と各事業に対する成果を伺う

市長

保健衛生総務費の不妊治療費助成金の対象者増加や、地域保健費のがん検診の受診者増加等が要因である。

また、後期高齢者医療特別会計及び病院事業会計への繰出金が増となっている。観光費については、ジオサイト等の整備、マリンス

ウン内観光トイレ新設及び伊東ゴルフメッカ推進事業費補助金の創設などが主な要因である。

各事業の成果としては、ユニバーサルデザインを重視した観光トイレの整備や、ジオサイト整備により、さらなるジオパークの魅力を発信するとともに、安全かつ安心して市内観光スポットを周遊することが可能となった。

『その他の質疑』一五項目

■ 自民・絆

・青木敬博議員・中島弘道議員
◎稲葉富士憲議員・稲葉正仁議員

財政調整基金及び減債基金の適正規模について伺う

この一一年間で財政調整基金は七八倍、減債基金は一〇四倍にまで増加し、一方、普通会計において、借金である地方債現在高は減少している。家計に例えるなら、将来に備えて貯金をし、

同時に借金も返済している状態であり、称賛されてもけなされることはない。しかし、それが地方公共団体となると、貯金よりも、市民の生活向上のために黒字額を使うべきだという意見が出てくる。その使途については、減税や子育て支援等、十人十色の提案がされるだろう。この市民感情を考慮すると、基金の適正規模の問題が浮かび上がることから、財政調整基金及び減債基金の適正規模について、見解を伺う。

市長

財政調整基金は、一般的に望ましいとされる数字はあるが、不測の事態に対応するために一定規模が必要であり、減債基金は、平成二九〜三六年度まで大型事業の起債の償還が重なることから、具体的な目標額があるわけではないが、しばらくは積み立てていきたい

財政調整基金については、一般的に、標準財政規模の一〇%から一五%が望まし

いと言われているが、年度間の財源の不均衡の調整とともに、近年、自然災害が甚大化する傾向があることから、こういった不測の事態に対応するために一定規模の積み立ては必要であると考えている。

減債基金については、主に、環境美化センター更新改良整備事業における起債の償還に備えるために積み立てを行っているところである。環境美化センター建設改良整備事業に係る起債の償還が本格化し、新保健福祉施設建設事業や学校給食センター建設事業などの大型事業の起債の償還も重なる平成二九年度から平成三六年度までは、毎年度の公債費が、現時点と比べ、三億円から四億円程度ふえる見込みである。

そのため、具体的な目標額を設定しているわけではないが、しばらくは、収支状況を見きわめながら、計画的に積み立てていきたい。

『その他の質疑』二七項目

■ 民進クラブ

・四宮和彦議員◎鈴木克政議員
・浅田良弘議員

プレミアム商品券事業について、その成果を伺う

商品券事業の商工業振興策としての効果は、かねてから疑問視されており、また、この事業の検証については、国に報告が義務づけられているが、どのような成果が得られたか伺う。

市長

地域の消費拡大だけでなく、地域経済の活性化に好影響があったと認識している

四億円余りが市内で消費されたことによる直接的な消費喚起効果と、新たな消費誘発効果として一億円を超える消費があったことなど、地域の消費拡大に大きな成果があったと認識している。さらに、換金割合が地元小規模店と大型店でおおむね同率となる等、身近な地域店舗への誘客効果や、

参加店舗アンケートの結果から、商店街を初めとした地域経済の活性化にも好影響があったと考えている。

病院事業会計に関し、現在の伊東市民病院の役割機能は、地域医療の基幹施設として十分か、また今後どのような機能充実を図るべきと考えるか伺う

市長

地域の医療の機能分化と連携を推進してきたが、新病院建設により、医療機能の向上が図られたことから、医師会との病診連携等、役割分担と連携について協議を進め、地域医療支援病院の承認に向け、現在、申請の準備中である。この承認を受け、賀茂医療圏域も含めた伊豆東海岸の基幹施設としての役割を果たしていく。

『その他の質疑』 七項目

■公明党

・鳥居康子議員・篠原峰子議員
◎長沢 正義員

競輪事業に関し、その成果と今後の展望について伺う

佃市長就任時にあった、七億五四〇〇万円程の累積赤字を解消し、平成二六年度に一五年ぶりに一般会計への繰り出しがあったが、平成二七年度の競輪事業の成果と今後の展望について伺う。

市長

一般会計への繰り出しが継続できるよう、経営基盤の強化を図っていく

全国競輪施行者協議会副会長として、積極的に競輪制度改革を進めた結果、不採算レースであるFⅡ開催の削減や賞金基準の同一化等が実現し、開催経費等の削減にも努め、平成二七年度には一般会計へ七〇〇万円の繰り出しを行うと

もに、全国四三競輪場全てが黒字となるなど、大きな成果があったと認識している。今後も、一般会計への繰り出しが継続できるようにさらなる経営基盤の強化を図っていく。

地域防災力は向上しているか伺う

市長

地域の防災力向上を図るためには、行政と市民が協働して取り組むことが重要であるため、行政からは自主防災会等の要望に基づく災害用資機材等の交付を行い、地域では市民と行政が一体となり津波対策地区協議会を開催している。また、各種訓練を通じ「共助の精神」を確認し、自主防災会には顔の見える関係を築けるよう努めていただいております。今後も地域や教育機関等と連携する中で地域防災力向上に努めていきたい。

『その他の質疑』 八項目

■日本共産党

・佐藤龍彦議員◎重岡秀子議員

市税の状況は、市内経済や市民生活を反映すると考えるが、平成二七年度決算における個人市民税と入湯税の状況をどのように分析しているか伺う

市長

個人市民税は、対前年度比で、二四三六万三〇二五円の減となっているが、比率で、〇・九%の減であり、ほぼ横ばいであると認識している。

入湯税は、対前年度比、二二九〇万九五八〇円の増で、二年連続の増加となり、旅館の利用客を中心とする入湯客数が、順調に回復しつつある状況となっている。このように入湯税は増加傾向にあるが、来遊客の増加が市内経済全体を押し上げるまでには至っていないと分析している。

今後は、来遊客が旅館の中だけにとどまらず、まち

に出ていくための政策、すなわち、点と点を結ぶ動線づくりを行政が実施することで、商店街の活性化、ひいては市内の経済対策につながるかと考えている。

『その他の質疑』 七項目
杉本一彦議員
(会派に所属していない)

保育園の待機児童ゼロを目指し行ってきた対策と成果及び今後の展望を伺う

市長

平成二七年度に民間保育園一園が開所し、また、玖須美保育園において、〇歳児の増員を図り、平成二七年度の年間通園人数は、対前年度で四九八人の増員となったことで、一定の成果があったと考えている。

今後は、〇〜二歳児の待機が予想されるため、来年度の保育園入園申し込みの状況を注視し、必要に応じて、地域型保育事業等の推進について検討していく。

『その他の質疑』 七項目

一 般 質 問

9 議員が登壇/市政全般について質問 (登壇順に掲載)

ふるさと納税の返礼品について、具体的な検討があったか伺う



民進クラブ
四宮和彦議員

ふるさと納税は税制との関係から、秋から年末にかけて、寄附が集中する傾向にある。三月定例会において、返礼品の送付について前向きに検討する旨の答弁が市長からあったが、返礼品の用意をするならば、九月をめどに事業着手しなければ、今年中に寄附受け入れ実績を出すことは難しいと思われる。現在までに具体的な検討があったか伺う。

市長
来年度の寄附金から返礼品を送付したいと考えている

返礼品については、現在、慎重に検討を続けている。今後は、平成二九年度の予

算編成にあわせ、本市の魅力発信につながるような具体的な事業内容を年内には決定し、平成二九年度の寄附金から返礼品を送付したいと考えている。

『その他の質問』 六項目

平成 27 年度 ふるさと納税 主な返礼品と寄附金	
宮崎県 都城市 宮崎牛など	42 億 3123 万円
② 静岡県 焼津市 マグロなど	38 億 2548 万円
③ 山形県 天童市 フルーツなど	32 億 2788 万円
④ 鹿児島県 大崎町 マンゴーなど	27 億 1964 万円
⑤ 岡山県 備前市 備前焼など	27 億 1568 万円

※ふるさとチョイス調べ 1万円以下切り捨て

五歳児健診の導入に係る今後の取り組みについて伺う



公明党
篠原峰子議員

第三次伊東市保健計画に、発達障害の早期発見・早期対応のため五歳児健診導入を検討する必要性が記述されており、また、心身の発

達等で支援を要する子供が増加傾向にあるため、五歳児健診の導入は急務と感じることから、今後の取り組み及び保護者への支援体制について伺う。

市長
実施に向けて検討を進める

五歳児健診の実施については、発達障害に早期に気づき、子供への適切な対応や就学の準備へとつながることから、実施に向けて検討を進めていく。

また、現在、母子保健事業の健診事後教室を開催し、発達相談や適切なかわりについて指導による支援を行っている。今後は、「さくら園」で不安を抱える保護者からの相談に応じるとともに、その子供に対する支援の充実を図っていく。

『その他の質問』 二項目



第 3 次伊東市保健計画

保育園の待機児童対策について伺う



日本共産党
重岡秀子議員

待機児童問題の現状に鑑み、以下三点伺う。
一 待機児童の現状を伺う。
二 入所の選考基準を伺う。
三 〇歳児から二歳児の定員をふやすなどの具体的方策が必要と考えるのがい

市長
待機児童解消の方策については、保育園入園申し込み状況により各種事業について検討する

今年度待機児童数は、三人であり、入所の選考基準については、申し込みに当たり、子ども・子育て支援法に基づく保育を必要とする事由や必要量を点数化して保育指数を算定し、入所判定をしている。

また、来年度の申し込みの状況により、待機児童解消のための方策について各種事業を検討する。

『その他の質問』 三項目



待機児童問題

日本版CCRC（高齢者地域共同体）構想の取り組みについて伺う



民進クラブ
鈴木克政議員

過日、移住促進事業における日本版CCRC構想の先進地を視察してきた。平成三年度までに二〇〇戸、四〇〇人の移住者用住宅及び共同施設、さらには交流

施設、保育園等を建設予定とのことであり、本市も専門部署を設け積極的に取り組む必要性を感じた。そこで、日本版CCRC構想の取り組みについて本市の考えを伺う。

市長

構想推進のメリット・デメリットを見きわめたい

高齢者のさらなる流入による高齢化率の増加、医療や介護の費用増加及び人材確保の面で懸念もあることから、県の「伊豆半島生涯活躍のまちづくり検討会議」の検討状況を注視し、構想推進のメリット・デメリットを見きわめたい。

『その他の質問』 五項目

CCRC を推進する市町

- 岩手県雫石町…100年の森と共生プラン
- 新潟県南魚沼市…衛生専門学校との連携
- 石川県輪島市…新交通システムでつなぐ漆の里
- 山梨県都留市…シルバー産業の構築の推進
- 長野県佐久市…交流と協働で織りなす夢をかなえるまち
- 鳥取県南部町…分散居住型の町づくりを目指す
- 福岡県北九州市…地(知)の拠点大学における地方創生推進事業

市営天城霊園の今後の整備について伺う



公明党
鳥居康子議員

市営天城霊園は多くの市民等の要望に応えていると考えるが、墓地使用者の応募状況を伺う。

また、家族構成の変化、宗教や墓地に対する考え方の多様化により、近年、市民要望は変化していることから、ご遺骨のみを預けることのできる納骨堂等を整備する考えがないか伺う。

市長

納骨堂等の建設は、市民要望を参考に検討していく

平成二七年度は、四六区画を募集、一九区画の使用者を決定。平成二八年度は、三九区画を募集し、三三区画の使用者を決定した。

また、霊園建設第二期計画には、納骨堂等の建設は

含まれていないが、今後、市民満足度調査の結果等の市民要望を参考に、平成三一年四月以降の建設計画の変更申請にあわせ、検討していく。

『その他の質問』 五項目



天城霊園案内図

運動施設建設計画の検討について伺う



日本共産党
佐藤龍彦議員

市営海浜プールの老朽化や全天候型スポーツ施設整備への市民要望等の課題があることから、本市の運動施設の建設計画等について総合的に話し合いを進めるためのプロジェクトチーム

を設置するなど検討に入らべきと考えるが、いかがか。

市長

関係団体などと協議しながら検討を進めていきたい

運動施設整備については、これまでも要望や提案がなされてきた。第十次基本計画においても、誰もが利用しやすいスポーツ環境の整備に努めることが明記されていることから、重要かつ必要なことであると認識している。しかし、多額の財源を初め、用地や施設概要など多方面からの調査、研究が必要となるため、引き続き、関係団体等と協議し、検討を進めていきたい。

『その他の質問』 二項目



市営海浜プール

通学路の安全対策の観点から門野中学校の通学路における街路灯のLED化について伺う



民進クラブ
浅田良弘議員

平成二四年四月以降、京都府などで登下校中の児童の列に車が突っ込む事故が相次いで発生したことから、通学路の安全対策としての緊急点検が各自治体で事業化された。本市においても、関係機関と連携し、協議を重ね、小学校については、平成二六年度から安全点検が実施されているが、防犯対策の面から門野中学校の通学路における街路灯のLED化について伺う。

市長
LED化に向けて順次進めていく

門野中学校の通学路のうち、泉橋方面及び城平住宅

方面に至る通学路に設置されている約一〇〇基の街路灯については、教育委員会が管理を行っており、今後は、LED化に向けて順次進めていく。

『その他の質問』 五項目



門野中通学路
(泉橋方面)

無料公衆無線LANの設置状況及び今後の整備計画について伺う



山口嘉昭議員
(会派に所属していない)

訪日外国人が旅行中に困ることの一つに、無料公衆無線LANが整備されていないことがある。本市も整備を強化していくと考えら

れるが、市内観光スポット及び公共施設等への無料公衆無線LANの設置状況及び今後の整備計画を伺う。

市長
観光スポットなどを計画的に整備する

公衆無線LANについては、伊東駅前や東海館周辺を初め、市役所市民ロビーや図書館等に整備した。さらに、民間施設に対しても支援を行ってきた。今後は、国の支援策を注視しつつ、公衆無線LAN機能付きの飲料水自動販売機等を活用し、観光スポット等を計画的に整備するとともに、民間施設の整備についても積極的な支援を検討していく。

『その他の質問』 二項目



市役所市民ロビーでWi-Fi使用できます

市有公共建築物の耐震化の現況を伺う



杉本一彦議員
(会派に所属していない)

小・中学校の校舎や体育館、児童福祉施設、市営住宅を含む市有公共建築物の耐震化の現況を伺う。

市長
小・中学校の校舎及び体育館は耐震基準を満たしている。その他の耐震補強を要する建築物または耐震未診断建築物も検討していく

小・中学校の校舎及び体育館は、耐震補強工事施工により国の耐震基準を全て満たしている。児童福祉施設については、広野、宇佐美保育園の耐震補強について検討していく。猪山住宅は耐震補強を検討し、耐震未診断の住宅については用途廃止を含め検討していく。今年度、南幼稚園富士見

分園の耐震補強設計及び市民体育センターの耐震補強工事を実施する予定であり、その他の耐震補強を要する建築物等も検討していく。

『その他の質問』 六項目



市有公共建築物 (市民体育センター)

寄附行為やあいさつ状の禁止について

市内において、議員が次の行為を行うことは公職選挙法で禁止されています。ご理解とご協力をお願いいたします。

- 答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等、時候のあいさつ状を出すこと
- 有料のあいさつ広告を出すこと
- 政党、その他の政治団体や親族に対するものを除き、寄附をすること

常任委員会だより

常任委員会審査の中から

◆詳細は、一月下旬発行予定の九月定例会会議録の委員会審査報告をらんくください。

総務委員会

問 市職員の退職管理に関する条例の制定経緯を伺う。

答 地方公務員法の改正により、部課長相当職にあった者が営利企業に再就職した際の現役職員への働きかけの規制等に関し、地方公共団体が条例で定められるようになったことから、その趣旨に鑑み制定する。

問 補正予算に係る消防団の消防車両整備について伺う。

答 普通自動車免許で運転できない車両が配備されている五つの分団に対し、二台車両を本補正予算で二台、次年度以降に三台配備する。



消防ポンプ自動車（2t）

観光建設委員会

問 起業支援及び空き店舗対策事業補助金について、起業した業種及び事業継続率を伺う。

答 まちなかや駅前周辺でレンタサイクル、外国人向けの簡易宿泊所などの若者による新しい業種の起業があった。二年間は事業継続することが補助要件となっているが、平成二六年度から起業した四二件のうち、二件は廃業している。今後、長く事業が継続できるように商工会議所と連携して支援していく。



商工会議所と連携して起業・創業を支援（伊東創業塾）

福祉文教委員会

問 伊東市文化施設整備基金条例制定に当たり、文化施設建設に関する寄附の現状及び展望を伺う。

答 寄附申し出の声は上がっている。建設について具体的な計画はまだないが、多方面から検討を進めていく。

問 本年度二学期から稼働している学校給食センターにおいて、現状での課題を伺う。

答 台風接近時や警報発令時における、給食の実施が中止かの判断方法について、今後検証していく必要性を感じている。



学校給食センター調理室

諏訪・伊東姉妹都市 議会議員交歓研修会

七月一二、一三日の二日間、諏訪市議会議員を本市に迎え、第二五回姉妹都市交歓研修会を行いました。

一二日は、本市産業課による「伊豆・いとう地魚王国の取組について」の説明後、諏訪市議員から活発な質疑があり、後日、諏訪市のスーパーと本市の鮮魚店間の取引が成立しました。

翌一三日、諏訪市議会は、大室山等を視察しました。

諏訪市議会と伊東市議会とは、昭和四三年二月五日の第一回交歓研修会以来、四年に一度ずつお互いの市を訪問し、交歓研修会を行っています。



質疑する諏訪市議員

閉会中の議会活動

※平成28年6月定例会閉会后
平成28年9月定例会開会まで

平成28年

- 7月 6日 議会報編集委員会
- 12・13日 諏訪・伊東姉妹都市
議会議員交歓研修会
- 19日 常任総務委員会協議会
- 25日 議会報編集委員会
- 28日 常任観光建設委員会協議会
- 8月 25日 議会運営委員会



8月1日学校給食センター落成式

正副議長の選挙

九月二十七日の最終本会議において、正副議長から辞職願が提出されたことに伴う選挙の結果、議長に稲葉富士憲議員、副議長に佐山正議員を選出しました。



第73代議長
稲葉富士憲



第69代副議長
佐山 正

会派の異動

●八月十九日 会派の異動

青木敬博議員

(新) 自民・絆

(旧) 正風改革クラブ

●九月二十七日 代表者変更

自民・絆

(新) 中島弘道議員

(旧) 稲葉富士憲議員

※稲葉富士憲議長は、総務委員会に所属していますが、申し合わせにより、委員活動を辞退しています。
【会派略名】(正)正風改革クラブ (絆)自民・絆 (公)公明党 (民)民進クラブ (共)日本共産党
(無)会派に所属していない

常任総務委員会

委員長 長沢 正(公)	副委員長 重岡秀子(共)	委員 井戸清司(正)	委員 中島弘道(絆)	委員 鈴木克政(民)	委員 山口嘉昭(無)
--------------------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

常任観光建設委員会

委員長 鳥居康子(公)	副委員長 横沢 勇(無)	委員 宮崎雅薫(正)	委員 佐山 正(正)	委員 青木敬博(絆)	委員 四宮和彦(民)
--------------------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

常任福祉文教委員会

委員長 稲葉正仁(絆)	副委員長 浅田良弘(民)	委員 土屋 進(正)	委員 篠原峰子(公)	委員 佐藤龍彦(共)	委員 杉本一彦(無)
--------------------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

議会運営委員会

委員長 井戸清司(正)	副委員長 中島弘道(絆)	委員 宮崎雅薫(正)	委員 稲葉正仁(絆)	委員 長沢 正(公)	委員 四宮和彦(民)
--------------------	---------------------	-------------------	-------------------	-------------------	-------------------

正副議長交代による新委員会構成

榎本元彦副議長急逝

榎本元彦副議長が七月二十五日に急逝されました。九月定例会冒頭、黙禱をささげ、全議員を代表して、重岡秀子議員が追悼演説を行いました。



市議3期 49歳
故 榎本元彦副議長

議員のお人柄と多大なるご功績をしのび、心からご冥福をお祈り申し上げます。

内山義夫教育長逝去
内山義夫教育長が七月四日に逝去され、九月定例会冒頭、黙禱をささげ、ご冥福をお祈りしました。

議会ミニ知識

政務活動費は条例で定めることにより交付することができますが、議員報酬とは別のものです。本市では、政務活動費はありません。

編集後記

今号から紙面をリニューアルし、カラーにしました。念願のカラー化が決定して以降、さまざまな協議を経て、ようやく発行となりました。これからも、議会の情報をさらに読みやすく発信していきたいと思っておりますので、ご感想などお寄せください。

また、議会編集委員も新メンバーとなりましたので、今後もよろしく願います。

議会報編集委員会

- 委員長 四宮和彦
- 副委員長 井戸清司
- 委員 青木敬博
- 委員 篠原峰子
- 委員 佐藤龍彦

市議会に関するご意見

ご質問は議会事務局へ

12月定例会の予定

12月1日(木)
開会

※日程等は、11月下旬の議会運営委員会にて正式に決定します。